

9月号

発行所
熊本県 大津町
大津町 中央公民館

印刷 大津 坂本印刷所

広 報

おおつまち

№. 222 昭和44年9月発行 毎月1回発行

人口の動き

出生	12
死亡	15
転入	71
転出	104
世帯人口	4,479
男性	19,578
女性	9,322
	10,256

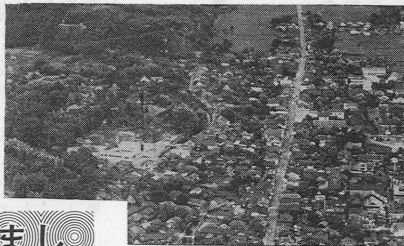
引越をしたら14日以内に
役場の窓口へ必ず届出
(転入転居)をしましょう

揃いのゆかたで600人

地蔵盆踊りに人の波

町が新しく制定した「花の大津」「大津音頭」の披露とあつて踊り子も大張切り 色提灯に彩どられた会場は 人々にうずまつた





農業構造改善事業

一三、九二八千円

三ヶ年計画で実施される農業構造改善事業の初年度事業計画の集団桑園造成事業は左の通り完了した御願所地区一〇、四五ha三、四〇三千円、下中地区一八、〇二ha四、二二五千円源場地区八、〇六ha二、二四四千円三地区の桑植事業費一三、九五六千円となっております近代農業の基礎づくりに努めた

造林事業

四、六六〇千円

造林計画に基づき町有財産の造成につとめる植林及び諸手入に要した費用は新植五、三ha五〇千円、補植二十ha、二三五千円下刈り及び補育二〇六ha二、五九二千円、薬剤散布その他一、三三二千円を実施し長期健全財政の確立に努力した。

国土調査

五、一一七千円

吹田、大林地区の四十二年実施現況と鑑野、外牧地区の計七四〇宅について調査を実施した。

農業振興及び干害対策

農道整備

農業振興施策として畑地灌漑

の事業を始めとし、養蚕、果

樹等の特殊作物の振興育成につとめた

干害応急対策一、〇九三千円、畑地帯

のボーリング二、二〇〇千円家畜導入

補助一、四二七千円、農道新設五、四

九二千円を投資し振興整備に努力した

一、三五六千円

商工会助成八〇〇千円、店舗改良利子補助五八六千円、つづし奨励成四〇〇千円、公園築設工事及び施設費六八八千円、大津民謡歌詞公募費一七千円、その他三三〇千円等により商工振興に努力した。

道路橋梁費

道路維持費四、一四六千円、新設改良一〇、七〇〇千円、橋梁費六〇〇千円等町道の維持及び新設改良に力を注ぐと共に県道についても四、六六〇千円の負担を舗装をするなど道路の整備に努力した。

住宅建設費一八、二六六千円

年次計画に基づいて立石団地に第一種町営住宅八戸、六、六二〇千円、第二種十六戸一、六四六千円計二十四戸を建設し住宅難の解消に努めた。

災害復旧費一〇、〇六一千円

道路災害復旧二四ヶ所六、三四七千円農林施設災害復旧十五ヶ所三、七一二千円等被災ヶ所の復旧に努めた。

消防費三、四七七千円

小型動力ポンプ五台購入二、二〇五千円火の見櫓八ヶ所四〇〇千円、防火水積五ヶ所四〇〇千円、その他ポンプ倉庫消火栓などの整備を消火施設の充実

教育費

矢養川地区の児童生徒の体育増進のため矢養川小学校プール建設工事費三、四三八千円、杉水公民館新築一、三二七千円、後泊、新聞、新小庭公民館に改装補加三六六千円を行い社会教育施設の充実を行った。

積立金の造成

一三、九八六千円

昭和四十三年度大津町の一般会計及び特別会計の決算並びに昭和四十三年中に実施した一般会計の主な事業について概要をお知らせします。

財政調整基金一三、九八六千円の積立を行ない将来の事業に対する経営資金その他の特殊な財政の健全なる運営を図ることとした。

庁舎建設事業

請負金額 一一八、〇〇〇千円

(四十三年度支払三〇、〇〇〇千円)

二ヶ年継続の大事業である庁舎建設も昭和四十三年十二月四日着工、昭和四十四年九月三十日完成を目標に着々進捗中であります。四十三年度中の出来高は約二六、一％で三〇、〇〇〇千円の支払いとなっています。

昭和43年度決算のあらまし

商工振興費

—(3)—

歳 出			
款	予算額	支出済額	比 較
1.総 務 費	5,638	5,082	556
2.医 業 費	2,415	2,371	44
3.施設整備費	85	84	1
4.公 債 費	109	109	0
5.予 備 費	48	0	48
歳 出 合 計	8,295	7,646	649

歳入歳出差引残額837千円は翌年度へ繰越

ブルドーザ特別会計 単位千円

歳 入			
款	予算額	収入済額	比 較
1.使用料及手数料	2,640	1,297	△ 1,343
2.財 産 取 入	800	0	△ 800
3.繰 入 金	3,500	3,500	0
4.繰 越 金	165	164	△ 1
5.諸 取 入	35	23	△ 12
歳 入 合 計	7,140	4,984	△ 2,156

歳 出			
款	予算額	支出済額	比 較
1.ブルドーザ費	6,913	4,884	2,029
2.公 債 費	30	0	30
3.予 備 費	197	0	197
歳 出 合 計	7,140	4,884	2,256

交通災害共済特別会計 単位千円

歳 入			
款	予算額	収入済額	比 較
1.交通災害共済費	2,190	2,393	203
2.諸 取 入	6	30	24
歳 入 合 計	2,196	2,423	227

歳 出			
款	予算額	支出済額	比 較
1.総 務 費	226	185	41
2.交通災害給付費	1,870	607	1,263
3.予 備 費	100	0	100
歳 出 合 計	2,196	792	1,404

国民特別会計(事業勘定)

歳 入			
款	予算額	収入済額	比 較
1.国民健康保険税	37,811	37,948	137
2.使用料及手数料	60	39	21
3.国庫支出金	73,346	77,173	3,827
4.県支出金	19	20	1
5.財 産 取 入	535	523	0
6.繰 入 金	3,000	3,000	0
7.繰 越 金	6,743	6,743	0
8.諸 取 入	322	486	164
歳 入 合 計	121,836	125,936	4,096

歳 出			
款	予算額	支出済額	比 較
1.総 務 費	5,984	5,836	148
2.保 険 給 付 費	106,289	104,324	1,965
3.保健施設費	1,903	1,842	61
4.基金積立金	1,093	1,093	0
5.諸 支 出 金	1,060	1,005	55
6.予 備 費	5,507	0	5,507
歳 出 合 計	121,836	114,100	7,736

歳 入			
款	予算額	収入済額	比 較
1.診療収入	6,711	6,948	237
2.使用料及手数料	4	6	2
3.財 産 取 入	50	0	△ 50
4.繰 入 金	1,000	1,000	0
5.繰 越 金	500	500	0
6.諸 取 入	30	29	△ 1
歳 入 合 計	8,295	8,483	188

歳入歳出差引残額11,832千円は翌年度へ繰越

(直診勘定)

歳 入			
款	予算額	収入済額	比 較
1.診 療 取 入	6,711	6,948	237
2.使用料及手数料	4	6	2
3.財 産 取 入	50	0	△ 50
4.繰 入 金	1,000	1,000	0
5.繰 越 金	500	500	0
6.諸 取 入	30	29	△ 1
歳 入 合 計	8,295	8,483	188

一般会計昭和43年度性質別歳出入内訳(単位千円)

区 分	決算額	比 率
人 件 費	125,038	30.7%
物 件 費	58,537	14.4
建設事業費	130,435	32.0
積 立 金	14,022	3.5
その他の経費	79,190	19.4
合 計	407,222	100

一般会計款別歳入歳出入内訳表 単位千円

款	予算額	収入済額	比 較
歳1.町 町 税	85,996	87,920	1,924
2.自動車取得税	3,501	4,060	559
入3.地方交付税	139,496	142,496	3,000
4.交通安全対策金	274	274	0
5.特別交付金	3,875	3,706	△ 169
6.使用料及手数料	11,426	11,564	138
7.国庫支出金	34,790	34,169	△ 621
8.基金積立金	56,762	54,670	△ 2,092
9.財産収入	4,091	4,191	100
10.附寄入金	2,790	2,881	91
11.繰入金	25,000	25,000	0
12.繰越金	17,293	17,293	0
13.諸取入	11,232	13,447	2,195
14.町 町 債	32,300	32,300	0
歳 入 合 計	428,846	433,971	5,125

款	予算額	支出済額	比 較
1.議 会 費	11,620	11,564	56
2.総 務 費	116,362	114,987	1,375
3.民 生 費	46,641	45,752	889
4.衛 生 費	14,315	13,223	1,092
5.農 業 費	320	301	19
6.林 業 費	59,166	54,215	4,951
7.水 産 費	5,336	3,973	1,363
8.商 工 業 費	52,119	49,890	2,229
9.市 街 復 旧 費	7,876	7,626	250
10.教 育 費	66,431	64,942	1,489
11.災 害 復 旧 費	13,678	13,070	608
12.公 公 債 費	27,693	27,674	19
13.予 備 費	7,289	0	7,289
歳 出 合 計	428,846	407,222	21,624

歳入歳出差引残額26,749千円は翌年度へ繰越

交通災害共済に

一日も早く加入を

事故死二名を出す

交通戦争が激化している今日、社会的関心の度合、各種の安全運動が広く展開されております。大津町に於ては警察、交通指揮員等によつて、交通事故撲滅に連日努力されているにも拘らず、つい最近交通事故による二名の死者、三名の傷者を出すやうな悲しい記録を作りました。(事故死による大津町交通災害共済に御加入の家庭は一戸でありました。)

一年三六五日安全な生活への希求が家庭の中に根をおろし「交通安全宣言の家」の誕生こそ、これからの課題であると思ひます。

「交通安全宣言の家」の中に、ドライバーがあり、歩行者があります。

ただ名目だけでなく家族を一同とした交通安全教育の方法、安全意識を核討し研究して欲しいものです。

選挙人名簿定時登録 の 書 面 綴 覧

今回の公職選挙法の改正により選挙人名簿の定時登録は年一回(九月十日)となり、本年度の定時登録すべき者として決定した者の住所、氏名及び生年月日を記載した書面を次により縦覧に供します。その期間中に閲覧して下さい。

期間 九月十一日から九月十五日

午前八時三十分～午後五時
場所 役場総務課内

今回の新登録者は住民基本台帳に登録されていて昭和四十四年六月二日以降

これからは母親をリーダーとした「交通安全宣言の家」の設置にとり組み親から、その日の生活のはじまりである朝に、ドライバーである夫に、カーキチの息子に、ヨチヨチ歩きのおや、小中学生の子供さんに、耳、足もとの危ないおじいちゃん、おばあちゃんに安全の「一言」を云つていただくなら、全国津々浦々の家から安全への声が一斉にひびきわたり交通安全の願いは、一歩一歩実現に近づく事でしょう。

又今秋の交通運動を前にし、安全教育安全運転等に充分努力される様お願い致します。

尚町民の皆さんには、この交通戦争の今日に警戒心を強めると共に「交通安全」への参加を強く希望します。又大津町交通災害共済に一人でも多く一日でも早く加入されることをおすめ致します。交通災害共済について詳しい事は役場総務課へお問合せ下さい。

九月一日までに満二十才になつた者及び本町に転入届をして引続き三ヶ月以上居住している者尚今で選挙権があつた人でも、今回の改正により、住民基本台帳に登録されていない人は職権により選挙人名簿より抹消されることになりましたので左記に該当する人は特にご留意され直に、住民届の手續をして下さい。

(1)本町に転入しているが住民届をしていない者

(2)入学、入院等の都合で転出し他の市町村へ住民票を移し本町の住民基本台帳に登録されていない者
これ等の人は本年七月十九日までの選

挙に於いては三ヶ月の住所要件だけを選挙権がありました。七月二十日(新法施行)以降の選挙からは投票出来るなくなりました。

以上のように今回の選挙法改正により住民基本台帳が基本になり、この住民基本台帳に登録されて引続き三ヶ月以上居住して居ればその後の選挙人名簿登録日に自動的に登録されることになりました。

公営住宅の二十四戸
に
立石団地に

本年度の公営住宅建設工事は立石団地に二十四戸建設されました。

去る八月九日入札が行われ、第一種住宅八戸は岩下建設が六百三十八万八千円、第二種住宅八戸宛十六戸を手営建設と大協建設が夫々五百十三万円で落札しました。

八月十七日着十二月中旬に竣工する見込です。

大津東小学校建設始る
障内幼稚園

大津東小学校は第一建設が工費四千三百九拾万円で落札し近く工事に着手し障内幼稚園は中山建設が五百拾参万七千六百円で落札し八月二十九日現地に於て起工式が行なわれた。

暑さ寒さも彼岸まで
交通事故もこの辺まで

舗装道路の散水は路面を傷めます

最近交通量の増加につれて県道並びに町道の舗装が行われる様になつて参りました。舗装工事の内、特にアスファルト系の舗装は水分による舗装面の損傷が甚しく、乳剤の成分が変化して路面はポロポロとなります。

又日中の散水は温度の急激な変化による伸縮で、特に舗装路面を傷める事となります。折角防塵、舗装をしても水まきのため元の悪逆とする結果となりますので、舗装道路の水まきは是非止める様御協力下さい。

人権擁護委員に 本山雲重氏岩坂

このたび法務大臣より委嘱発令がありました。

人権擁護委員の使命は国民の基本的人権が侵されることのないように監視し若しこれが侵犯された場合には、その救済のためすみやかに適切な処置を採るとともに常に自由人権思想の普及高揚に努めることです。

ぶどう酒の 家庭製造はできません

ぶどうの最盛期を過ぎる頃になると、ぶどう酒密造の音が聞かれることがあります。

ぶどう酒の家庭製造は酒税法によつて固く禁じられており、これに違反すれば犯罪者として五年以下の懲役又は五十万円以下の罰金が科されることにな

りますので、このようなことのないよう充分御注意下さい。
この外リンゴ酒の製造もぶどう酒同様罰せられます。
(菊池税務署)

郡子ども会 ソフトボール大会 中陣内下陣内三回

菊池郡社会福祉協議会主催により第三回菊池郡子ども会ソフトボール大会が八月十二日(深府小学校で炎天下郡内各町村より出場九チームにより熱戦が展開されましたが大津町より出場の二チームはいづれも第三位でした。

- 優勝 洞水町永村子ども会
- 二位 菊陽町馬場子ども会
- 三位 大津町中陣内子ども会
- 下陣内子ども会

町長に 便りを 出ソソ

下町を舗装して下さい

下町倉岡和代さんより願路次のような便りが町長に寄せられました。飛行場でもあります、菊陽町にまたがる道路にもなっています。将来は車の波が予想されます。

連体日には車がありませんに通りました。二、三日雨が降らなければ目もあけられない程です。

非舗装が出来るように運動していますが、是れお返事 二指差の地点を係で調査したい。七号線と結ぶ連絡道路として舗装予定です。町道になっていきますのでしばらく辛捧下さい。

年金

高令任意加入者の再加入

明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までに出生した人は、国民年金が発定した昭和三十六年四月当時すでに五十才以上五十五才であったので、被保険者期間も短く関係で(通常の場合六十才まで)一応強制加入の対象から除かれておりました。しかし昭和三十六年四月より被保険者期間十年間という約束のもとに任意加入の道がとくられました。この人達を高令任意加入者といっておりますが、十年年金として昭和四十六年四月から、六十五才になった月から、月額五千元、年額にして六万円が支給金が支給される予定です。発足当時の制度に加入出来なかつた人は、来年一月頃に再加入のチャンスが予想されますので、老後の年金保障を自分自身で築きましよう七十五才になつてから老令福祉年金との関係について申しますと、本人の所得制限や扶養義務者の所得制限等に該当され、年金が貰えない場合でもこの制度に加入しておれば三万円の年金が貰えます。

この制度のあらましと加入条件は加入資格……明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までの出生者で日本国籍者
加入出来ない人……(1)恩給を受けている人 (2)公務員共済組合などから退職年金を受けている人 (3)厚生年金や船員保険から老令年金を受けている人 (4)通算老令年金か通算退職年金を受けている人、ただし公費扶助料や遺族年金などをうけている人は加入出来ません
申込期間昭和四十五年一月一～六月
被保険者期間……七百五十日
保険料額月……七百五十円
年金額月……三万円(自二十五年以上)受給時期……五年間保険料納付後二十才到達者の加入促進
今年満二十才になられた人に係では国民年金に加入されるよう通知と届出書を送りましたが、まだ届出を済ませない人が相当ありますので早く届出されるようお願いいたします。この届出は国民年金法という法律で強制加入となっておりますので無断では済まされないと自分都合で無断では済まされないとお返事しております。通知書に述べたお返事や共済組合員である人、大学生といった人は加入面の必要はありませんが、勤人か学生であるかの届出は係まで連絡される様お願いします

善 意

社協一般寄附金

武方町 上町 益田那弘殿
長女真由美殿の心臓手術に要した
献血の御礼と退院祝
香典返し
五千元

御願所 藤坂圭光殿
老万町 本町一 中島吉吉殿
老万町 真木 長野民雄殿
老万町 本山トキキニ殿
武方町 上鶴二 亡夫実殿
長男仁殿

不慮の災害による死のため
とりまぎれ御姓名を伺い洩
れの方もあり失礼をお詫びし
ておられます。

オギヤール献金

老千円 矢護川 山上盛幸殿
五百円 陣内 国朝英一殿
岩坂 東家善雄殿
五百円 室 坂垣国春殿
老千円 引水 坂本一彦殿

善意銀行

預託 物品口座

桜町 山野豊記殿よりヨールト一〇
〇本一日お父さん旅行記

現金口座

西本實利殿一万円、石崎日出男殿一万
円坂本菊美殿一万円大山高顯殿千八百
円、府内照雄殿二千円、笠原春雄殿千
円、山野豊記殿千円、藤本雄殿千円
斎藤雄殿千円、一日お父さん旅行記に
水原町大塚浩殿二九〇円、吐子とも会
千円、上鶴三丁目とも会千円、日吉
町東船子とも会千円、本町十二分団子
とも会千円、引水子とも会千円、中陣
内児童会式千百拾円也各も地藏祭策

鏡の内から社会福祉のために

払出 物品口座

山野豊記殿預託のヨールト一〇〇本
を母子家庭児童の一日お父さん旅行記
に

現金口座

母子家庭児童の一日お父さん旅行経費
の一部に二七、〇九五円

勞力口座

平川若松会老人クラブ(会長三池)十二
三名老人懇の家草取奉仕
引水老人クラブ三十一名(会長木村宇
一)老人懇の家草取り奉仕

老人ホーム慰問

日吉町 古閑大次様 一〇八〇〇円
旭ヶ丘住宅 山本セツ子 二〇〇〇円
室町婦人会 代表者 大塚トシ子 二〇〇〇円
福田トシ子様ブドウ一五K
緒方計助様煙草キザミ三六
ケマツチ六〇ヶ
今村利雄様 一〇〇〇〇円
灰塚 四分団 後迫女子 一〇〇〇〇円
中学通り 六年豊岡裕美様 五〇〇〇円
中山通 六年山名彰 二〇〇〇円
第一七分団一同 一八〇〇円
本町二 西本房子様 一〇〇〇〇円
中材堅塚 砂糖六K 一〇〇〇〇円
室三子とも会 石崎秀様 五〇〇〇円

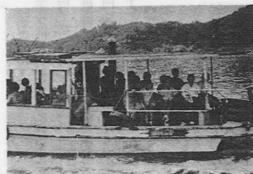
老人と西瓜

一年中で一番暑い盛り 引水老人クラ
ブでは五七号線のコスモスの草はら
いに汗を流して手入中、通りかかった大
津町字森の坂田今朝雄さんが西瓜の初
成りを熊本朝の朝市に出荷の途中、老
人の仕事を感謝してか二十数個の西瓜
を車から降して下りて下さいと、下さ
りました。老人達は大喜びで元気を取
戻し坂田さんの好意に感謝して居まし
た。本場に有難う御座いました。

引水老人クラブ

心酔ごと相談 毎週火曜 老人懇の家
憩の家休湯日 九月十一日・十月九日

一日お父さん旅行記



大津町社会福祉協議会では八月十八日
母子家庭児童五〇名を招いて石崎町会
議長、柴田収入役が一日お父さんとな
り母親及び母子福祉委員とともに天草五
橋見物を行った。
三角海岸で、バスから三隻の遊覧船に分
乗し涼しい潮風に吹かれ水しぶきを楽
しみながら美しい線の島々眺めつつ
松島の展望台に登り九商レストランハウ
スでたのしい中食をとる。
ヨールトや菓子、西瓜などの接待に
満腹し、天草の島々を一巡に眺めるす
ばらしい景色を讚えながら帰途につく
バスの中では大きなアイスクリームに
舌づみをうち全員無事たのしかつた
この旅行に満足し名残りを惜しなが
ら別れた。尚この催しに御援助下さつた
方々に厚く御礼申します。

今月の行政相談

日時 九月十九日午前十時・午後三時
場所 老人懇の家
相談事項は国の行政に関する凡ゆる事
項 例)ば年金、保険、思給、税金、
農地、道路、衛生、郵便等についてお
困りのこと、納得のゆかないこと、こ
うした良からう等の御意見を遠慮な
く申出て下さい。
相談は無料です。

行政相談委員 合志武一